

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 住友金属鉱山(株)播磨事業所

1 環境保全活動に関する方針等

1 - 1 環境保全活動に関する方針

- ・ 当事業所では、ISO14001 のシステムにより環境保全活動に取り組んでいる。環境保全活動に関する方針等については、環境マニュアルの中の「環境方針」において宣言している。
- ・ 2009 年度 C S R 報告書を発行。

【CSR 方針】

資源の有効利用およびリサイクルを推進するとともに、技術革新やI初げ-効率の継続的な改善などにより、地球温暖化対策に取り組めます。

国内外において地域に根ざした活動を積極的に推進し、地域社会との共存を図ります。

人権を尊重し、多様な人材が活躍する職場を整えます。

安全を最優先し、快適な職場環境の確保と労働災害ゼロを達成します。

多様なステークホルダーとコミュニケーションを強化し、健全な関係を構築します。

(目標・計画等の公表の方法についても記載すること)

1 - 2 環境保全活動に関する組織体制

* 公害防止管理組織をもって、環境保全活動に関する組織体制としている。

* 連絡体制については危機管理体制を定め、内部・外部、緊急/異常事態発生時報告ルートを示している。

別紙 2

2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組み結果	今後の取組み計画
廃棄物削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉱さい品質の安定化を進め、販売先を確保した結果、2009 年度限定ではあるが鉱さいの再資源化率 40.4%を達成した。 ・ 古紙、ペットボトルの再利用を図った。 ・ 2010 年 2 月 1 日、焼却炉を休止し、資源ごみの分別収集によるリサイクルを推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子化推進による北用紙の削減 ・ 継続した資源ごみの分別収集
環境マネジメントシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2010 年 1 月外部の維持審査を受け、合格。監査時の指摘は特に無し。 ・ 2 回 / 年の内部監査を実施、システム運用を確認。 ・ 内部監査員への教育 (2 回 / 年) を実施、監査員のレベル向上を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境実行計画の推進 ・ 継続した内部監査の実施
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6 月 1 日、朝礼で所長より環境月間の講話を行う。 ・ 6 月 1 日、環境啓蒙ビラを所内従業員へメール配信。 ・ 環境月間ポスター掲示。 ・ 海岸漂着物の定期的清掃活動を実施した。 (12 回 / 年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全所員への環境教育の実施 (100%の受講率) ・ 海岸掃除の継続
環境コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2009 年度版 CSR 報告書の発行。 ・ 2009.10.2 播磨町民生議員視察受け入れ、事業所概要説明と環境関連取組みを報告。 ・ 2009.11.5 Sox 賦課金現地立入調査、特に問題なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境情報の公開 (1 回 / 年の発行)
化学物質管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毒物・劇物について不要物の一斉処分、保管場所、表示、管理状況の確認パトロールを実施した。 ・ PCB 機器の管理状況の報告を行う。 ・ PRTR 法による報告を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毒物・劇物の適正管理維持のためパトロール継続
特定物質排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2009 年 6 月、精鉱の保管を貯鉱舎内にすることで、周辺環境への飛散リスクを低減した。 ・ 2010 年 1 月、F 自動分析計を導入、24 時間監視が可能になった。 ・ 大型送風機のインバータ化による省エネ 2 件実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2010 年度に Zn 自動分析計を導入計画 ・ 省エネ活動の推進による CO2 排出量低減